

理事長講演



子どもNPOセンターの齋藤万世理事長が11月28日、県立大学で「子どもの人権について」の講演をしました。地域の団体やPTAなどで理事長の講演を企画し“子どもの今”と一緒に考えてみませんか。

おはなしぶくぶく



「おはなしぶくぶく」は楽しいことが大好きなお母さん達のサークルです。人形劇や紙芝居、手遊び、パネルシアターなど「楽しいこと」と一緒に各地の保育園、幼稚園、児童館に公演に出向きます。

レンタルします！



「スマートボール」「カウボーイ輪投げ」「ストラックアウト」「空き缶つりぼり」など手作りあそび用品を多数とりそろえています。子ども会のイベントや地域のお祭りに使ってみませんか。レンタルの予約は福井県子どもNPOセンターにお早めどうぞ！

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。

●個人

一口年額／ **5,000円**

●団体（法人）

一口年額／ **10,000円**

B. ボランティア会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。

●個人

一口年額／ **1,000円**

C. 一般寄付も受け付けています。

入会方法

郵便振替の通信欄に、

①住所 ②氏名 ③電話番号
④会員の種類（左記ABCいづれか）
⑤口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546

福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。ぜひご利用ください。

①個人のご寄附

【所得税】（寄附金の合計額－2,000円）×40％が税額控除されます。【上限：所得税額の25％】

【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。

【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

②法人のご寄附（法人税）

認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。（2012/4/1）

{（資本金×（当期の月数÷12）×0.375％）＋（所得の金額×6.25％）}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト（国税庁＞申告・納税手続＞認定NPO法人制度）でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員

鯖江子ども劇場 〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20
鯖江市民活動交流センター内

小浜子ども劇場 〒917-0231 小浜市国分50-9
TEL.0770-56-2867

勝山子ども劇場 〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内
TEL.0779-87-1011 FAX.0779-87-1022

NPO法人
福井芸術文化フォーラム 〒910-0019 福井市春山2-7-1（福井市文化会館内）
TEL.0776-23-6905 FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

●有限会社アドヴァンス近信
●大久保リースホームビル株式会社
●大月産婦人科クリニック
●片山整形外科
●上屋敷工業株式会社
●医療法人矯正歯科誠クリニック
●学校法人 福井仁愛学園
●スクエアパーク

●造家屋
●つちだ小児科
●ネットヨタ福井株式会社
●光タクシー-有限会社
●広瀬病院
●福井県映画センター
●まきレディースクリニック
●三井皮膚科医院

●山内整形外科
●有限会社山下燃料
●りつこ山野流着装教室
●六感デザイン

Salt & Pepper ソルト&ペッパー

絵本の読み聞かせを行っている、子どもたちは大人以上に様々な事に気がついているんだと感じます。例えば、隅っこに描かれている虫を見つかったり、前のページはこうだったのにね?など大人はついつい文字を追ってしまいますよね。文字が読めるようになって、嬉しい事だけれど純粋に絵を楽しむんでいる時期が羨ましいなぁと最近思うのでした。（まい）



記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号

TEL.0776-97-8460 FAX.0776-97-8461

E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp

URL <http://childnpo.com>

📌 始めました

企画・編集 / 福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン



Take Free [無料]

こどもChannel



チャンネル



発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL：<http://childnpo.com>

「今」を生きる子どもたちと、
かつて子どもだった
大人たちを
つなぐ情報誌。



あべこべ学校

子どもゆめ基金助成事業

報告

伝える難しさ乗り越える勇氣

- 参加：子ども先生 小学生17名 大人生徒 27名
 ■メインファシリテーター：島田妙子氏
 ■ファシリテーター：小柏博英氏、高木未貴氏、谷内由美子氏、坪川倫子氏

日時	内容	会場
11月5日(土) 9時～15時	子ども先生第1回ワークショップ	福井市研修センター
11月26日(土) 9時～15時	子ども先生第2回ワークショップ	福井県社会福祉センター
12月10日(土) 9時～15時	大人生徒にむけて授業	福井県社会福祉センター

子ども達に「伝えることの難しさ」を体験してもらい、「その難しさは工夫次第で克服できる」ことに気づいてもらうには？あべこべ学校の設立はここからスタートしました。17名の小学生は、自分の希望を叶えたい一方、相手を尊重し、互いの折衷案を模索し続けました。授業案に正解はありません。まさに「作り上げる」や「生み出す」という言葉がぴったりです。戸惑う子ども達に光を当ててくれたのは、4名のファシリテーターです。限られた時間の中で「何をどう伝えるのか」ただひたすらに後押ししたのです。あべこべ学校は、子どもだけでなく、大人の参加があってこそ成立します。今回、初めての試みにも関わらず、たくさんの大人の方々にご参加頂けたことは私達スタッフにとって本当に心強いものでした。生徒の笑い声を聞いた先生たちは、一瞬で笑顔になりました。緊張も跳ね退け「また授業をしたい」と意気込んでいます。普段と立場が入れかわるという新しい経験を通して、お互いに今まで見えていなかったことにたくさん気づきました。大人と子どもが共に育ちあうことを実感し、子どもたちの今後の活躍に期待を寄せています。(島田妙子)



科目

開校式	
朝の会	
1時間目	百人一首、ボーリング、的入れ、イラスト
2時間目	むずかしい漢字、ももあげ、じんじんテスト
給食	カレーライス、みかん
3時間目	歴史クイズ、算数、ひっかけ問題クイズ
4時間目	天文学、ドッジボール、どうきんが"け、クイズ"
帰りの会	
閉校式	子ども先生認定

大人生徒アンケートより

子どもたちが一生懸命授業する姿を見て「学ぶ」ことや「教える」ことがこんなに楽しいことだと改めて感じる事が出来ました。何か新しいことを大人も始めようという気持ちにさせられ元気をもらえた気がします。みんなありがとう。(40代男性)

子ども先生に算数と漢字を教えて頂きました。人とのコミュニケーションの取り方、うまいへたでないんだなあと思いました。(60代女性)

初めての体験で楽しかったです。初めて会った方とみんなで笑い合えてよかったです。子どもに戻った気分が楽しかったです。でも実際のいろやってみると大人になってしまっているだけに、計算したり楽なやり方とか余計なことを考えてしまったときにやはり純粋な気持ちにはなれないなあと思いました。(40代女性)

福井県まごころ基金助成事業

大人が学びあう講座



虐待防止活動 ～知ってほしい現状と課題～



3回連続講座の2回が終了しました。現場で被虐待児のケアにあたっておられる方の言葉は重く、中でも新井先生の「幼い子は性虐待を受けてもそれと気づかず発見が遅れる」というお話にはハッとさせられました。性教育という以前に「これは秘密だよ」という大人は悪い人と教えないと強く思いました。

今回の講師は母子保健に関わっておられる方で、より身近なお話が聞けると期待しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

第3回講演会

- とき：1月28日(土) 14時～16時 ■会場：地域交流プラザ(アオッサ6階)
 ■講師：間瀬小夜子氏(愛知県半田市保健センター-母子保健) ■参加費：1,000円

予告

予告

ふくいチャイルドライン 受け手ボランティア募集

ふくいチャイルドラインは子ども専用電話です。子どもの電話を受けるボランティアは心身ともに健康な18歳以上の方で特別な資格はいりません。下記の研修をすべて受講し受け手ボランティアとして活動してみませんか。

- とき：平成29年2月19日(日)9:30～16:30
 ■会場：福井県立大学交流センター 3階多目的ホール
 ■研修費：3,000円 ■定員：30名

18才までの子ども専用電話 月曜日～土曜日 16:00～21:00 ☎ 0120-99-7777



アンケートから

11/13 第1回講演会 新井康祥氏

自分の周りにほとんどない虐待。しかし確実にすぐそばにある事。多くの症例、現状、具体的な治療法、対応をわかりやすく話していただき理解できました。自分のできることは何か。すぐそばに「病的愛着の被害」にあっているとおもわれる子どもがいます。考えなくてはいけないと思いました。

12/3 第2回講演会 浜崎裕太氏

子ども達への熱い思いが伝わってきました。いろいろなケースを紹介していただきましたが、どれも職員の方の思い、それを支える支援体制、様々の手法、関係機関との連携など人材=人材の重要さが分かりました。

10/13 上映会「わたし、生きていいのかな」

いろいろな形の支援機関があることを知りました。普通の家族がふとしたきっかけで虐待が起こる状態になってしまう怖さを感じた。そのような経緯があっても周りの支援から少しずつ紐解かれ安定した生活や精神状態に近づいていけるのだと実感し、同時にドラマの世界ではなく現実に虐待というものが多く起こっている現代に、社会全体が危機意識を持って多方向から取り組んで行かなければならないと思いました。遠い世界の話ではなく現実として受け止めていく機会になりました。

うめだ演劇工房 演劇キッズ2016

子どもゆめ基金助成事業

- 参加：小学生高学年22名 ■講師：梅田美千代氏、鷲田静佳氏

演劇キッズでは、9月に手にした台本を元にそれぞれが役作りに励んでいます。自分の役の性格や好きな食べ物等を考え、台本に書かれていないことまでも想像してその役を作り上げていきます。(キッズ達の想像力は本当に面白いです。素晴らしいです。)それと今年の見所の一つに合唱があり、歌詞はそれぞれの家族を思いながら皆で話し合って作りました。12月から歌の稽古が始まっています。子どもたちが歌う「家族のうた」心でしっかり歌い上げて欲しいです。早くも本番を想像して涙……涙……です。(鷲田静佳)



報告



「家族のうた」 作詞 演劇キッズ 作曲 河原知佳

おこったり、けんかしたり、腹が立ったりそれが、私と家族の日常で……イヤになる友だちとけんかして落ちこんでいる時側にいてくれるのも家族なのにね
 大嫌いって言ったこと、後悔してる
 本当は、ありがとうって思っているよ

うれしい時、楽しい時、がんばった時いつも一緒に笑ってくれるね
 悲しい時、さびしい時、泣きたい時やさしく見守ってくれるね
 どんな時もそばにいてくれる、家族のみんなが本当に、しあわせだって思っているよ

あなたの宝ものは？って聞かれたら迷わずに応えるよ、家族っていつも思っているのに言葉にできない
 明日は言おう、明日こそは
 今日もありがとう 明日もよろしくね
 今日もありがとう 明日もよろしくね

明日は言おう 明日こそは
 今日もありがとう 明日もよろしくね

発表会

- と き：平成29年3月5日(日)14時開演
 ■会 場：響のホール ■応援チケット：ひとり500円

予告

子どもフェスティバル

ふくいっくらんキッズ2016

子どもゆめ基金助成事業・まちなか活性交流イベント補助事業

- とき：10月23日(日) 11時～15時
 ■会場：ハピテラス(駅前周辺)
 ■お客さん1,000名
 ・子どもフリーマーケット『ボクたちのお店』(小学生)102店舗 289名
 ・『パフォーマンスらいぶ』(中学生)7名
 ・『チカパン大道芸』



報告

今年の「ふくいっくらんキッズ2016」は4月にオープンしたハピリンハピテラスで開催しました。元気によびこみをするフリーマーケットの小学生店長の声、自在にステージをアレンジする中学生パフォーマーたち。会場は子どものアイデアとたくましさでとてもにぎわいました。会場に立ち寄った大人たちから「子どもがたくさんいる楽しい機会をもっと作って欲しいわ」と声をかけられました。まちの中で子どもと大人が交流できる場をみなさんが歓迎していることを嬉しく思いました。

子どもたちの感想

さいしよは「いらっやい」などがはずかしくていえなかったけれど、やっているうちに大声でたくさんいうことができてよかったです。目玉しょう品が二つとも売れたのでよかったです。(6年女子)

本物のお金でやって少しこわかった。物の大切さが少しわかった。(4年女子)

しょう品をならべるところからがんばりました。さいごのほうになるとなかなか売れなかったのねだんを安くしたりくふうしました。(4年男子)

ありがとうとよるこんでいわれたことがうれしかったです。(2年女子)

めっちゃ楽しかったです。またこううきうきに踊れたら最高だなと思いました。(中学生ダンスパフォーマー)



グリーンボランティア活動支援事業

報告

「ぐりとぐらの森あそび」

- とき：9月24日(土) 10時～15時 ■参加：42名

「親子遠足 ハックルベリー」の森へ!

- とき：11月20日(日) 9時～16時 ■参加：42名

- 講師：坂本均氏
 ■会場：大野市六呂師高原 ハックルベリーの森

幼児、小学生の親子対象に2回自然体験活動を行いました。講師の坂本さんと一緒に森を散策し、整備活動を行った後はお楽しみのおいしい時間です。9月はかまどをつくり火おこしをして、絵本でおなじみのカステラを、11月は竹に何層も生地をつけてバームクーヘンを作りました。慣れない火おこしでしたが、みんなの頑張りでどちらもおいしく焼き上がりました。

